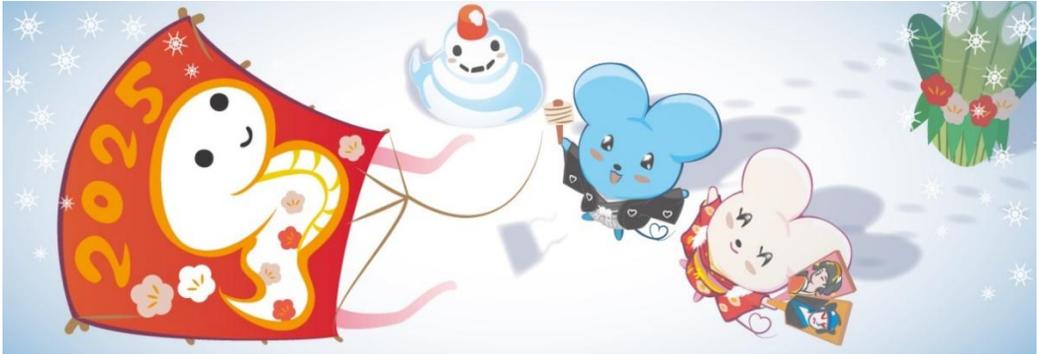




NPO法人 ITでマザル、ハタラク、拓き合う。

札幌チャレンジド

HSK 札チャレ通信



目次

- 02..... 新年のご挨拶
- 03..... Sapporo・チャイルド・ライツ 2024 報告
- 04..... パソコンボランティア養成講座のご案内
- 05..... 見えない方 見えにくい方におすすめのアプリ紹介
- 06..... 講習グループ 放課後等デイサービス さっチャレだより
- 07..... 就労グループ 北海道と NPO 法人札幌チャレンジドの挑戦
- 08..... 就労グループ メンバー紹介
- 09..... 移行グループ スタッフから新年のご挨拶
- 10..... 移行グループ プログラム紹介
- 11..... 移行グループ メンバーさんにインタビュー！
- 12..... 会費・寄付の納め方

昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認 HSK 通巻 634 号 Vol.261

発行日: 2025 年 1 月 10 日発行(毎月 10 日発行)

編集人: 〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地北苑ビル 2 階

NPO 法人 札幌チャレンジド TEL:(011)769-0843

発行人: HSK 北海道障害者団体定期刊行物協会

定価: 30 円(年会費に含まれる)



新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

札幌チャレンジドの設立は、2000年ですから25年目を迎えています。設立後、四半世紀が経っているのですから月日が経つのはほんとうに早いなあと思います。

そして、25年も続けて活動できているのは、札幌チャレンジドに多くの方が興味を持ち、関わり、それぞれの立場で力を発揮していただいているからです。心から感謝申し上げます。

去年は、札幌チャレンジドのスタッフ二名にお子さんが生まれました。とても喜ばしいことで、事務所に連れて来てくれた時には、みんなで『かわいい！！』の連発でした。

札幌チャレンジドは、「ライフステージに合わせて永く安心して働ける職場（組織）」を目指しています。職員一人ひとりにも寄り添うことで、より良いサービスが提供できると考えています。

2002年の最初の専従職員の配置以来、ほぼ毎年、一人ずつ職員の数が増え、現在18名の職員がそれぞれの得意や持ち前を活かしながら励んでいます。

2025年、札幌チャレンジドならではの特徴をさらに磨いて、社会課題解決に挑戦していきます。困難な課題も多く、自分たちだけでは解決できませんから、多くの方々と連携して創意工夫を続けます。

今年も引き続き、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今年一年のみなさまのご健康、ご多幸をお祈りします。

2025年元旦

NPO 法人札幌チャレンジド 理事長 加納 尚明

Sapporo・チャイルド・ライツ 2024 報告

2019年から札幌市内の子どもと関わる6団体と一緒に実施している、子どもの権利を考えるキッカケを投げかける Sapporo・チャイルド・ライツプロジェクトを今年も実施しました。

① しおり ACTION

趣旨にご賛同いただきました 19 書店にて、「児童虐待防止推進月間」の 11 月 1 日～30 日の間、Sapporo・チャイルド・ライツのしおりを 2 万枚配布しました。

コーチャンフォー3店、三省堂書店札幌店、MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店、イオン札幌藻岩店書店、未来屋書店8店（イオン内）、宮脇書店2店（イオン内）、ダイヤ書房、ラボラトリー・ハコ&かの書房、Seesaw Books の 19 書店にて配布。

② 北海道イエロースターズ ACTION

北海道のプロバレーボールチームの北海道イエロースターズがキッズの笑顔が星のように輝くよう願いを込めて開催する「Delight Kids Days」の中の 11 月 17 日（日）に試合会場内にブース出展し、500 名さまにしおりを配布しました。

北海道イエロースターズが Sapporo・チャイルド・ライツのことを知り、ブース出展のお声かけをいただきました。北海道イエロースターズさん、ありがとうございました。

③ 札幌市中央図書館 & 中学校図書館との連携 ACTION

札幌市中央図書館および札幌市内の中学校図書館にて当プロジェクトのしおりを配布しました。



障がいのある方のための パソコンボランティア養成講座のご案内

障がいのある方のパソコン技術習得や活用を支援するボランティアを養成する講座を開催します。

1 対象者

- パソコンの基本操作ができ、日常的に利用しており、障がいのある方へのパソコンボランティアに関心がある方。
- 札幌市のパソコンボランティアに登録し、活動する意志がある方。
(※パソコンのメールアドレスをお持ちの方)

2 内容

- (1) 札幌市パソコンボランティア派遣制度について
- (2) 障がいのある方にパソコンを教えるときの心構え、注意点
- (3) 障がいのある方のパソコン操作を助ける Windows 機能
- (4) パソコン操作の音声読み上げソフトに関する研修と実習、等

3 講習日程

令和 7 年 (2025 年) 2 月 8 日 (土)、9 日 (日)

1 日 6 時間 × 2 日間 計 12 時間 いずれも午前 10 時～午後 5 時(昼 1 時間休憩)を予定

4 募集定員

10 人(※申込書の内容をもとに選考)

5 会場

札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地 北苑ビル 1 階

NPO 法人札幌チャレンジド 講習会場(札幌駅西口より徒歩 5 分)

※駐車場の用意がございません。恐れ入りますが、公共交通機関のご利用をお願いいたします。(https://s-challenged.jp/)

6 受講料(+テキスト代)

2,000 円

7 申込方法・締切

市役所、区民センター、地区図書館等に備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、令和 7 年 1 月 24 日(金)〈必着〉までに、

下記申込先に郵送またはファックス、メール*でお申込みください。

選考後、受講の可否を郵送でご連絡いたします。

*メール: 下記の ICT サポートセンターサイトでダウンロードできる申込書に記載し、メール添付で申込み。

8 申込・問合せ先

〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地 北苑ビル 2 階(札幌チャレンジド内)

札幌市障がい者 ICT サポートセンター TEL:011-769-0841 FAX:011-769-0842

(電話受付: 月曜～金曜〈祝日除く〉午前 10 時～午後 4 時)

https://sapporo-ict.com/

講習グループ紹介

「見えない方見えにくい方におすすめのアプリ紹介」(9)

講習グループ スタッフ
篠原 光陽 (しのはら こうよう)

見えない方見えにくい方へのパソコン講習を担当しています、篠原です。私自身が全盲です。ここでは不定期の連載として見えない方見えにくい方がパソコンあるいはスマートフォンを利用するのに便利なソフト・アプリを紹介させていただきます。

今回はスマートフォンのアプリとして[Envision AI] (エンビジョンエーアイ) を紹介します。

こちらのアプリはスマートフォン対応となっております。カメラで撮影した画像から文字を認識し、音声で読み上げが可能です。

今回は二つの機能をご紹介します。

1. インスタントテキスト: カメラを対象物に近づけるとすぐに文字を認識し、音声で読み上げます。ほかの文字認識アプリでも同様の機能がありますが、こちらのアプリは文字の認識精度が高く、対象物にかざした瞬間に文字を読み上げます。また、一度文字を認識すると、少しの手振れがあっても読み上げが途中で止まることはありません。私はこのアプリで、宛名の読み上げ、調味料や、インスタント食品などのラベルの読み上げに使用しています。

2. スキャンテキスト: こちらはカメラでかざした文字を自動で撮影し、スキャン結果を音声で読み上げる機能です。全盲の方ですと、対象物全体を撮影するのに少し練習が必要になりますが、コツをつかめば、うまく撮影できます。カメラで対象物を撮影するときにフラッシュライトが点灯しますので、周りの方への配慮が必要になるかもしれません。

このアプリは、iPhone、アンドロイドに対応しています。アプリをダウンロードするとき、もしくは使用している間のアプリ内課金は無料です。

アプリのダウンロード先ホームページはこちら

Envision - Google Play のアプリ Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.letsenvision.envisionai&hl=ja>

「Envision AI」を App Store で

<https://apps.apple.com/jp/app/envision-ai/id1268632314>

札幌チャレンジド 放課後等デイサービス

さっチャレだより

発行
令和6年
12月

2024年 冬号

早いものであつという間に雪景色！タイピングの時に寒くて指が動かない・・・という季節になりましたね。最近、季節にちなんだ作品を作ったり、タイピングを頑張ったり、みなさんそれぞれのやりたいことを着々と進めています。



CST講習 ピックアップ！

「はあっていうゲーム」というカードゲームを通して、人との関わりの基本（ストロークを渡す、もらう）を体験しました。カードのお題を演技して相手に「伝える」という内容です。コミュニケーションに大切なことを考える、感じるきっかけとなりました。



パソコン検定試験を開催しました。！

10/20(日)に日本情報処理検定協会のパソコン検定を実施しました！(札幌チャレンジドは試験会場に認定されております)4回目の開催で、今まで延べ45名の合格者を輩出しました！受験級が上がってきて、難しい！という声が増えてきました。みんな頑張れ～^^！

教室のようす



今後の予定

- ・12/24.1/28
模擬検定
- ・2/16
パソコン検定本番



就労グループ紹介

障がい者の可能性を広げるテレワーク推進事業 **北海道とNPO 法人札幌チャレンジドの挑戦**
就労グループ リーダー 佐藤 美貴

2020年より、北海道とNPO 法人札幌チャレンジドが連携して実施している「障がい者のテレワーク推進事業」は、地域社会における障がい者の新しい働き方を模索する取り組みです。このプロジェクトは、障がいのある方々が住み慣れた地元で新しい働き方を体験できる場を提供し、将来的な就労の可能性を広げることを目指しています。

北海道は全国でも特に広大な地域で、都市部と地方の格差が顕著です。地方では雇用機会が限られているだけでなく、就労支援の施設やサービスの選択肢も少ないのが現状であり、障がいがある方が「働きたい」と思っても、地元でその選択肢が見つからず、意欲を持ちながらも諦めざるを得ないケースが多々あると聞いております。こうした背景を踏まえ、パソコンを活用したテレワークという形態に注目し、障がいのある方々が地元にながら仕事に挑戦できる環境を提供するため、本事業が始まりました。

この事業では、北海道内に在住する18歳から50代までの障がいのある方々を対象に、10～15日間程度のテレワーク体験を提供しています。札幌チャレンジドが日頃行っている業務に近い模擬業務をテレワーク形式で体験します。業務連絡や進行管理には、Microsoft Office365のTeamsを使用。これにより、テレワーク環境下でのコミュニケーションや仕事の進め方をリアルに学んでいただける内容となっています。

これまでの参加者からは、「テレワークのイメージがついた」「実際に体験して自分に合う働き方がわかった」といった感想が寄せられる一方、「思った以上に難しかった」という声もありました。また、「札幌チャレンジドの業務に興味を持った。ぜひここで働きたい」という意欲的な感想もあり、本事業が参加者のキャリア形成に影響を与えていることがわかります。

遠く離れた地域でもインターネットを活用して同じ業務に携われるということが、この事業の強みであると思っています。テレワークという選択肢が広がることで、障がいのある方々が地元を離れずに働き続けることができる未来が描けます。

今後もこの事業を通じて、障がいのある方々の働く選択肢を広げ、より多くの方々が自分らしく社会とつながれるような仕組みを作り続けてまいります。この挑戦が、地域社会全体の意識を変えるきっかけになることを願っています。

就労グループ紹介

新たな一歩

就労継続支援 A 型メンバー

M.Y

皆さんこんにちは。2024 年 4 月より NPO 法人札幌チャレンジドで勤務している M.Y です。よろしくお願いします。

好きな音楽アーティストは、「A え！ group」と「Official 髭男dism」です。趣味は、編み物などのものづくりとダンスです。

私は小学校高学年頃から知的障害をもっています。

現在は各種のデータ入力業務を担当しています。

札幌チャレンジドで仕事をしようと思ったきっかけは、高校の先生からの紹介でした。実際に見学を訪れた際に、職場の雰囲気や自分の中でイメージしていた堅苦しい感じと違い、それぞれの仕事に真剣に向き合っている先輩の方々の姿を見て、私も札幌チャレで仕事ができたらいいなと思ったのがきっかけです。

社会人になってから、高校で学んだことなどを一つも無駄にすることはありませんでした。人とのコミュニケーションはもちろん、言葉遣いや社会人としての態度などといった社会基礎をたくさん学んできたからこそ、今の仕事に役立っているのだと思います。

学校とは違う環境や場所で何カ月経っても慣れないこともたくさんありましたし、ふとした時に自分はこれからどうやって仕事をしながら生きていけばいいのだろうと考えることもありました。それでも、学校で先生方に言われた言葉や学んだことは決して忘れることはなく、今でも心の中に刻まれています。まずは私の背中を押してくださった学校の先生方に感謝したいです。

私は、自分のペースを大事に、これからも様々な仕事を頑張っていきたいです。そのためには、目の前にある仕事にしっかり取り組むことが大事だと思うので、一つ一つ丁寧にこなしていくことを目標にしていきたいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。

移行グループ紹介

就労移行支援グループ スタッフ
金澤 美希

～スタッフから新年のご挨拶～

新年あけましておめでとうございます。2024年はメンバーやスタッフが増え、新たな移行支援の雰囲気の中でプログラムや就職活動に取り組むことができました。2025年もメンバーの皆さまと共に頑張ってもらいたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは移行支援グループのスタッフより、一言ずつご挨拶させていただきます。



今年もアクティブに、毎日を楽しみたい
と思います。皆さまにとって素敵な一年
になりますように。 大山珠美

無事全力で駆け抜けた一年でし
た。今年も「健康第一」で頑張り
ます！金澤美希



今年も充実した一年になりますよ
うに♪どうぞよろしくお願いいたします
します。渡辺静流

今年は健康に気を付けながら心機一転、
何事もアグレッシブに行動して行きたいと
思います！異動したてで、まだまだ覚える
事や判らない事が多いですが、フレッシュ
な気持ちで頑張ってもらいます。岡野将己



2025 年もどうぞよろしくお願いいたします。

移行グループ紹介

就労移行支援グループ スタッフ
金澤 美希

～プログラム紹介～

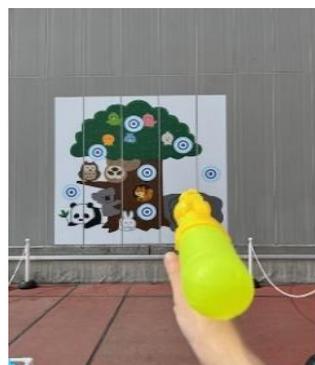
○卒業生茶話会

1月と9月に卒業生茶話会を実施しました。
久しぶりに顔を会わせてお話することができ、
とても楽しい時間となりました。
写真はみんなで食べたお弁当です。



○ストレッチ&ウォーキング

7月はエスタ「空のガーデン」へ行きました。
シャボン玉や縄跳びなど童心に帰って遊べる道具がたくさんあり、
みんなで一緒に楽しみました。



11月は北大のイチョウ
並木を見にいきました！

○札幌を歩こう

9月「新札幌サンピアザ水族館」へ行きました。
お昼は「ふれあい広場あつべつ」でピクニックをしました！
この日は天気も良く、ポカポカ陽気の中で過ごすことができ、
メンバー・スタッフともに癒しの時間となりました。



《お問い合わせ・お申し込み》

NPO 法人 札幌チャレンジド 移行支援グループ(大山・金澤・渡辺・岡野)

電話:011-769-0986(直通) FAX:011-769-0842

mail: challenged@s-challenged.jp

移行グループ紹介

「メンバーさんにインタビュー！」

就労移行支援グループ スタッフ
渡辺 静流(わたなべ しずる)

今回は、23年4月から移行支援のメンバーになった、ペンネーム:ニッケルさんにインタビューをしたいと思います。

Q 自己紹介をお願いします。

お初にお目にかかります。ニッケルです。

学校を卒業してから、何もかもうまくいなくて引きこもっていたところ、卒業生から声をかけられて、札チャレとのご縁ができました。いまでは、スタッフの方々によるあたたかいサポートのおかげで、充実した日々を過ごせています。

Q 好きな講習はなんですか？(在宅訓練含む)

毎週金曜に開かれる、コミュニケーション講習です。エゴグラムやアサーションといったトピックを通じて、自己感情や他者との関係性を理論的に分析する試みはわくわくしますし、一生ものの技術を教えていただいている実感があります。実践ワークやレクリエーションも展開され、その時その時のメンバーゆえに生まれる空気感を愉しむ120分です。



Q 今、頑張っていることはなんですか？

現在、在宅インターンに参加中です。メインであるIT学習ではPythonやDjangoを使った課題に取り組んでいるところです。まだまだ分からないことだらけで、思うようにいかないケースも多いのですが、できることを少しでも増やすべく、頑張っています。

Q 最後に一言をお願いします。

ここで過ごしていると、いろいろな場面において、私たち利用者を応援したいという札チャレ全体の本気を感じます。必要としている方々に、その熱意が届きますように。



会費・寄付の納め方

1. 郵便振替

郵便局においてある振替用紙でお納めいただく

(1,000 円の場合は窓口手数料 203 円、ATM 手数料 152 円)

<振込先>口座番号 02750-5-1346

「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド」

2. 銀行振り込み

(北洋銀行から 1,000 円を振り込む場合、手数料 110 円)

<振込先>北洋銀行 札幌西支店 普通 3966083

「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド 理事長 加納尚明」

3. 現金書留で送っていただく

4. 札幌チャレンジドの事務所にお持ちいただく

5. 訪問講習を受けている方は、訪問講師にお預けいただく

いつもありがとうございます



昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認

発行日:2025 年 1 月 10 日 HSK 通巻 634 号 Vol.261

編集人:NPO 法人 札幌チャレンジド

発行人:HSK 北海道障害者団体定期刊行物協会

「札幌チャレ通信」

春号発送予定日

令和 7 年 3 月 28 日 (金)